

破傷風について

破傷風は、けがの傷口が土などで汚れていると感染します。

- 土の中には破傷風菌が存在しています。外傷を負い、傷口から破傷風菌が侵入した場合に、破傷風に感染することがあります。
- 人から人に感染することはありません。

破傷風とは？

どんな症状が出るの？

- 感染すると、3～21日後になって、全身のこわばりや筋肉のけいれんが起こります。
- はじめは、口があげにくくなり食事がしにくくなります。
- のち、顔面の筋肉が硬直し、こわばりが全身に広がることもあります。重症の場合は死に至ることもあります。

傷口に土が付いたり、がれき等でけがをした場合には、傷口をよく洗い、医師の診察を受けましょう。

- 外傷を負い、土などで汚染された場合には、速やかに傷口を洗浄してください。
- 万一、けがをして3週間くらいの中に、顎や首の筋肉のこわばり、口が開けにくいなど破傷風の症状が見られたら、すぐに医療機関を受診してください。

もし感染したら？

ワクチンは？

- 30代までの方の多くは乳児期の予防接種で免疫を持っていますが、40代以上の方は免疫が十分ではありません。

片付け作業を行なう際には、十分ご注意ください。

